

# 調査範囲

## 土層強度検査棒の活用事例

地域の災害時避難所となっている施設裏に斜面があり、その斜面の安全性調査の依頼が施設からあった。限られた少ない予算の中から、斜面の安定度を評価する必要があったので、土検棒を用いて調査を実施した。

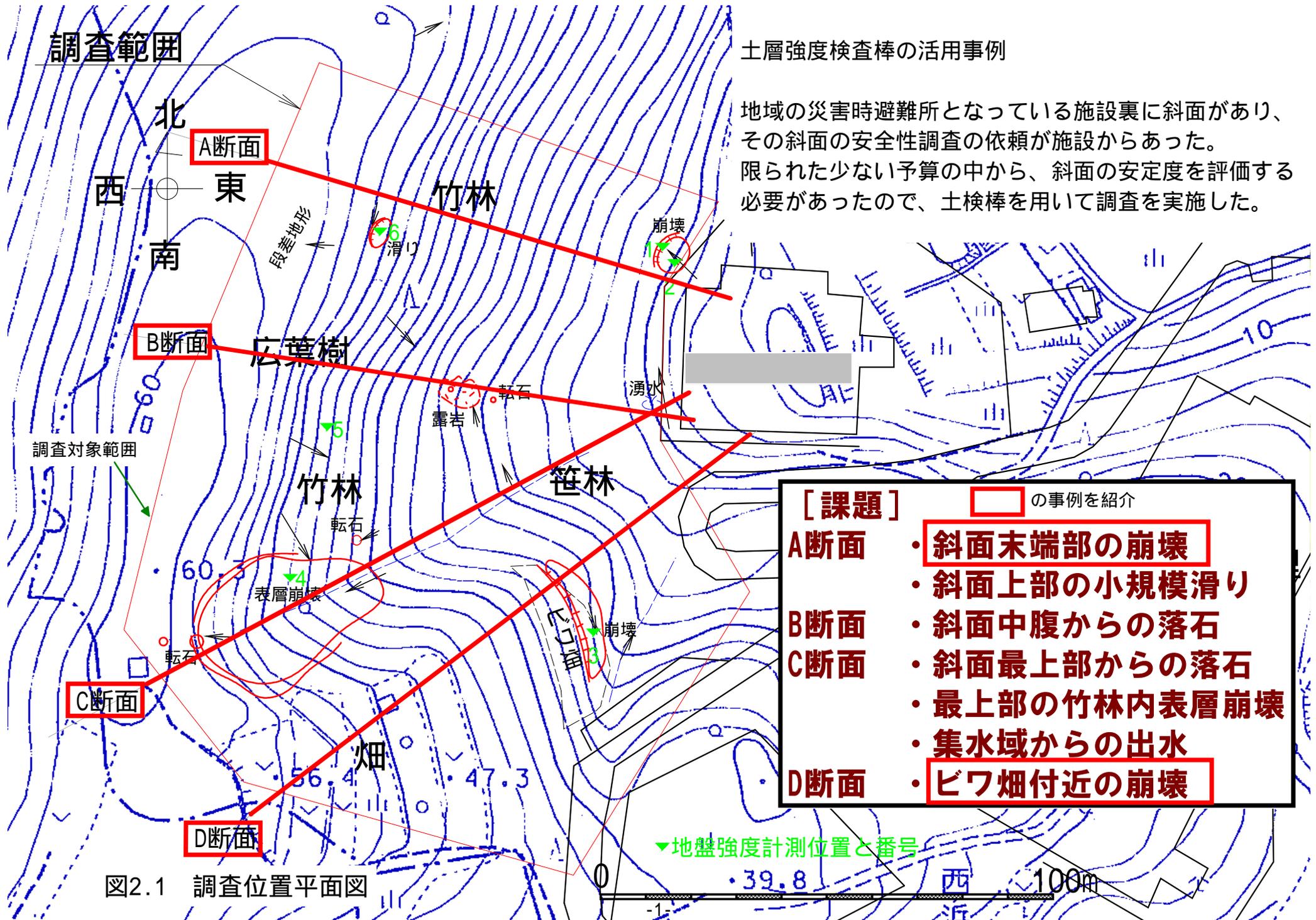


図2.1 調査位置平面図

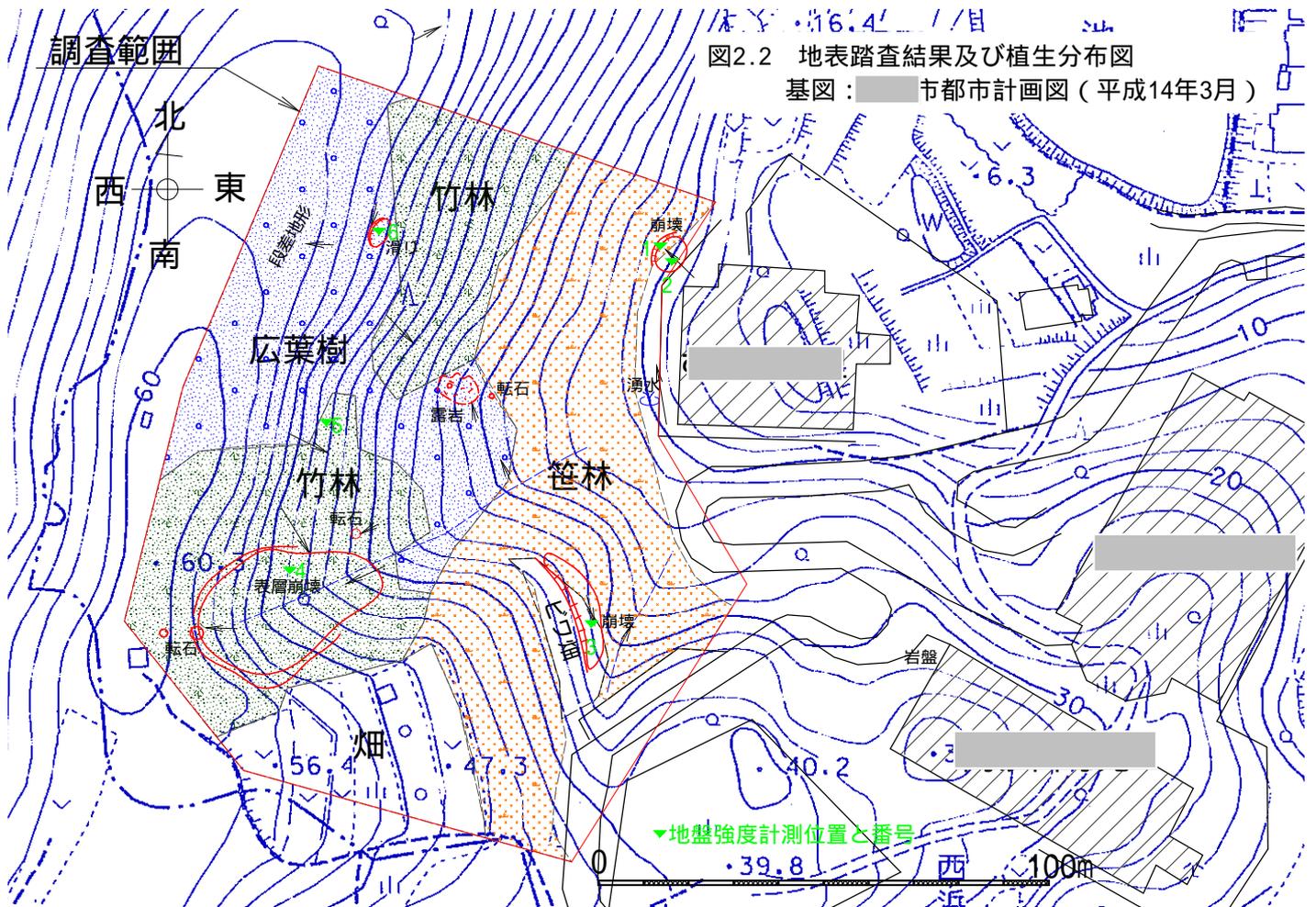


図2.2 地表踏査結果及び植生分布図

基図：市都市計画図(平成14年3月)

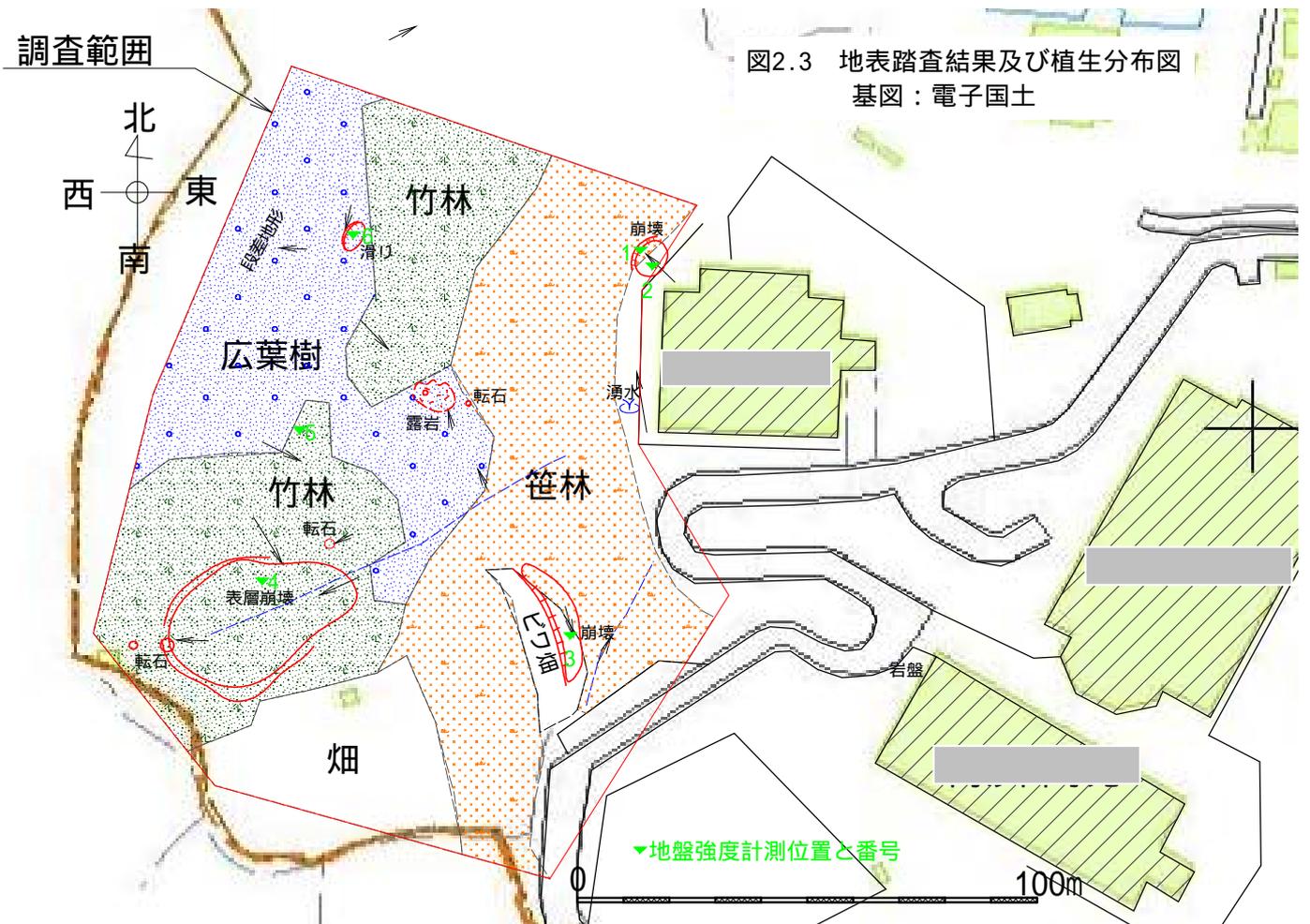
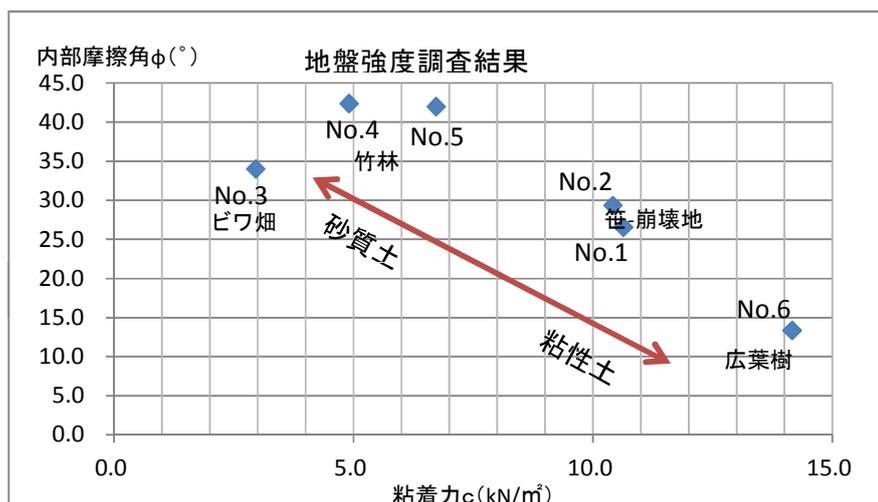


図2.3 地表踏査結果及び植生分布図

基図：電子国土

番号	土層厚 (m)	粘着力c(kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦角φ(°)	記事
No.1	0.20	10.6	26.6	笹林。崩壊跡上部
No.2	0.70	10.4	29.4	笹林。崩壊跡下部
No.3	1.30	3.0	34.0	ビワ畑。約4年前に等高線沿いに崩壊部
No.4	0.45	4.9	42.4	竹林。竹の根系部の表層すべり跡
No.5	0.40	6.7	42.0	竹林。健全部。段々畑跡
No.6	1.00	14.2	13.4	広葉樹林。小滑り跡。段々畑跡



地盤強度特性と植生との間にも何か関係がありそうだ！

地点16 [redacted] の崩壊跡地。



最上部崩壊面（直下の表土厚 20cm）



下部の土砂層（表土厚 70cm）

図2.2.1 A-1 安定解析

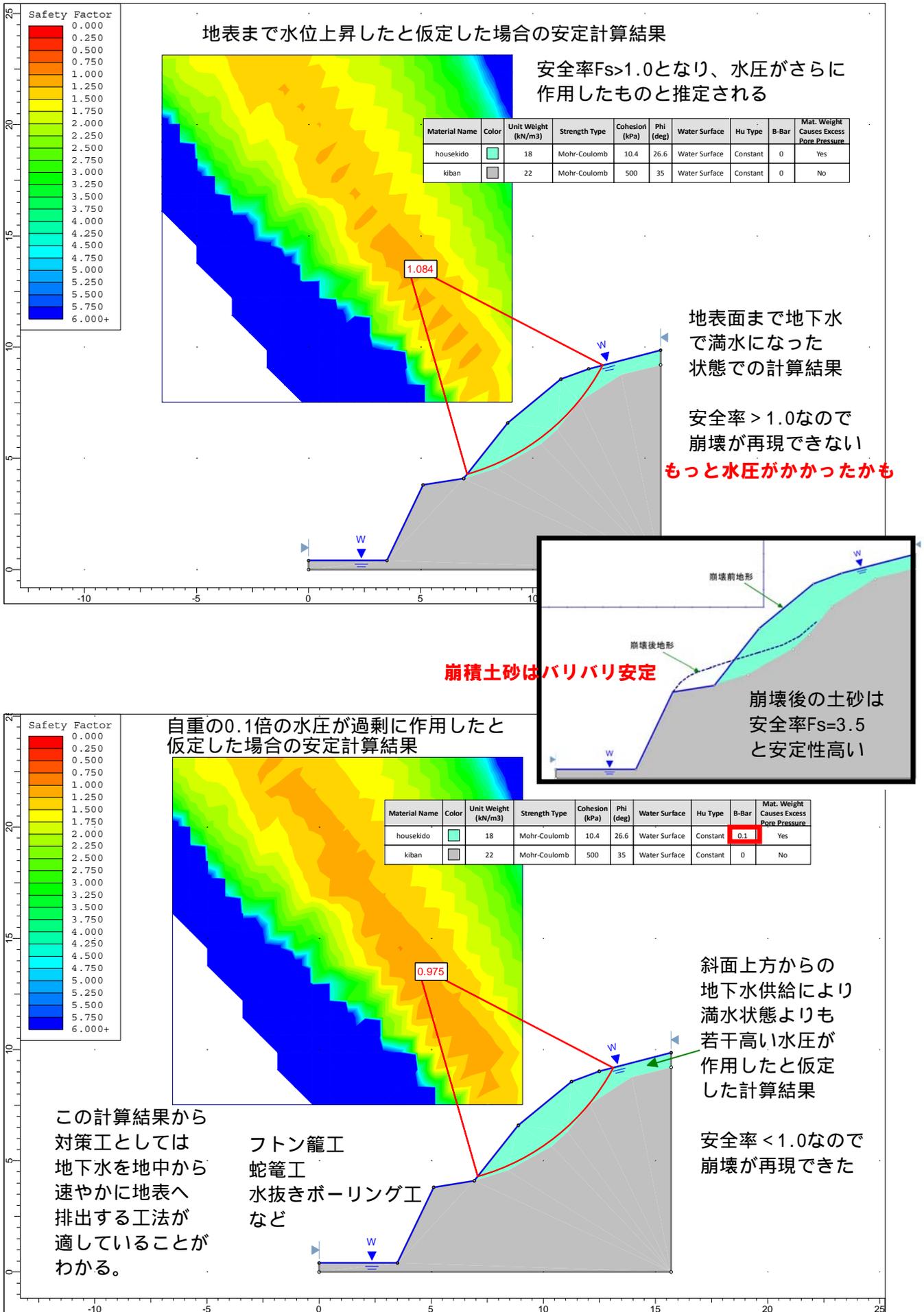
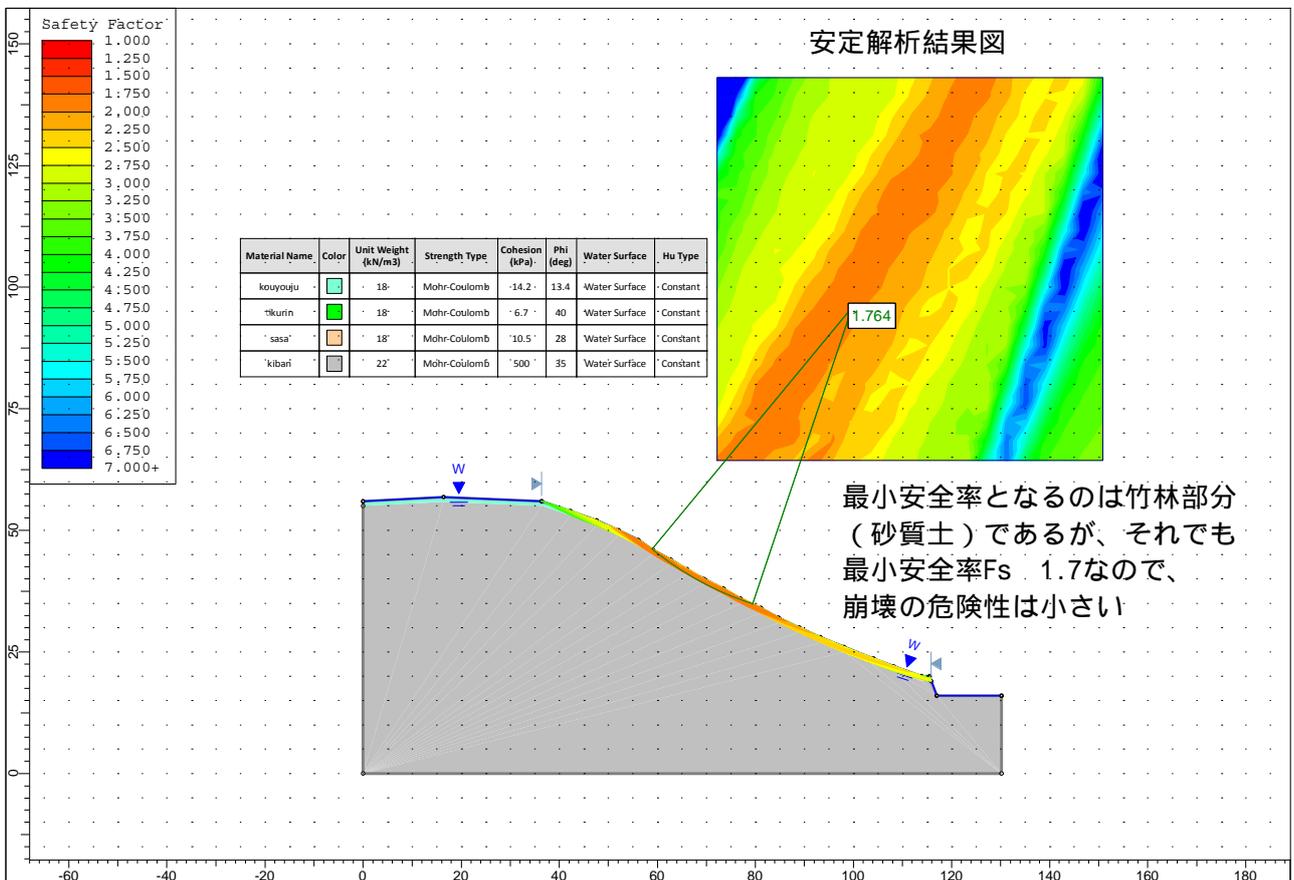
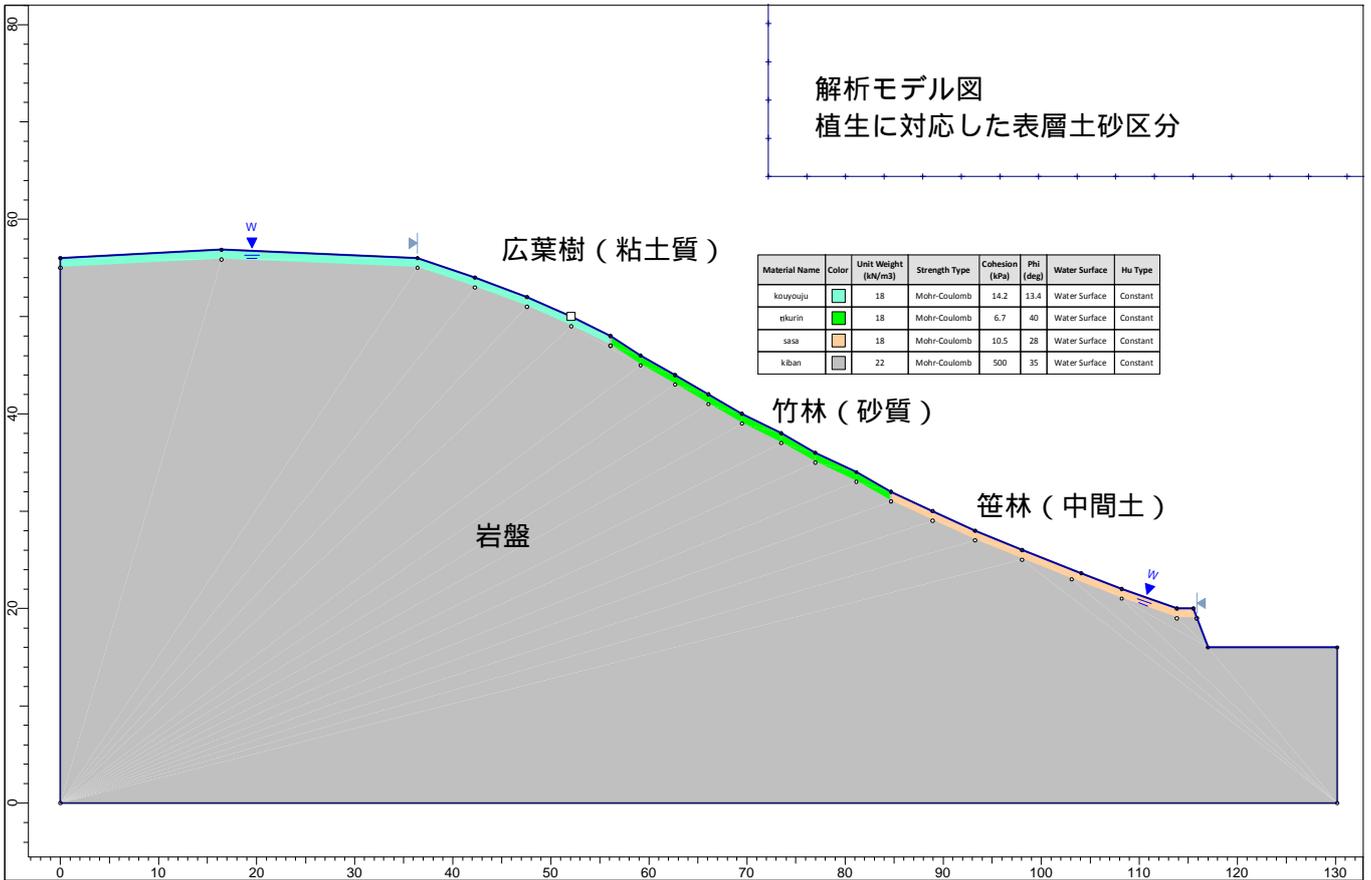


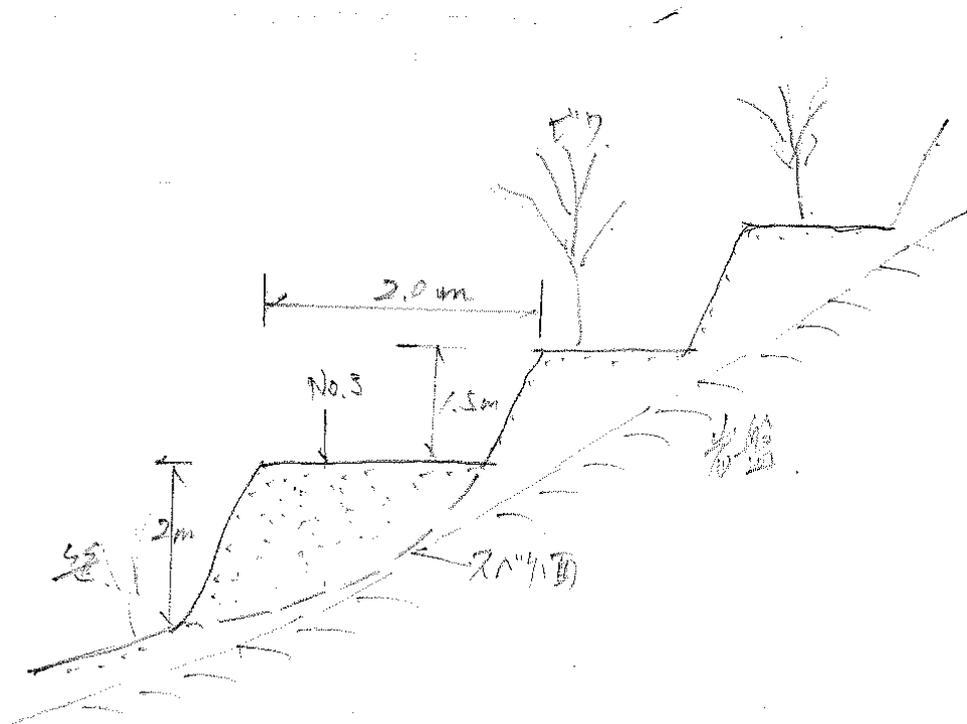
図2.3.1 A-2 斜面全体の安定解析



地点14：ピワ畑。4年くらい前の大雨の時に等高線沿いに滑った。落差は1.5m程度。(地盤強度試験 No.3 地点、表土厚 1.3m)



ポール位置が約4年前に滑った跡



スケッチ

図2.8.1 (D-1) 安定解析

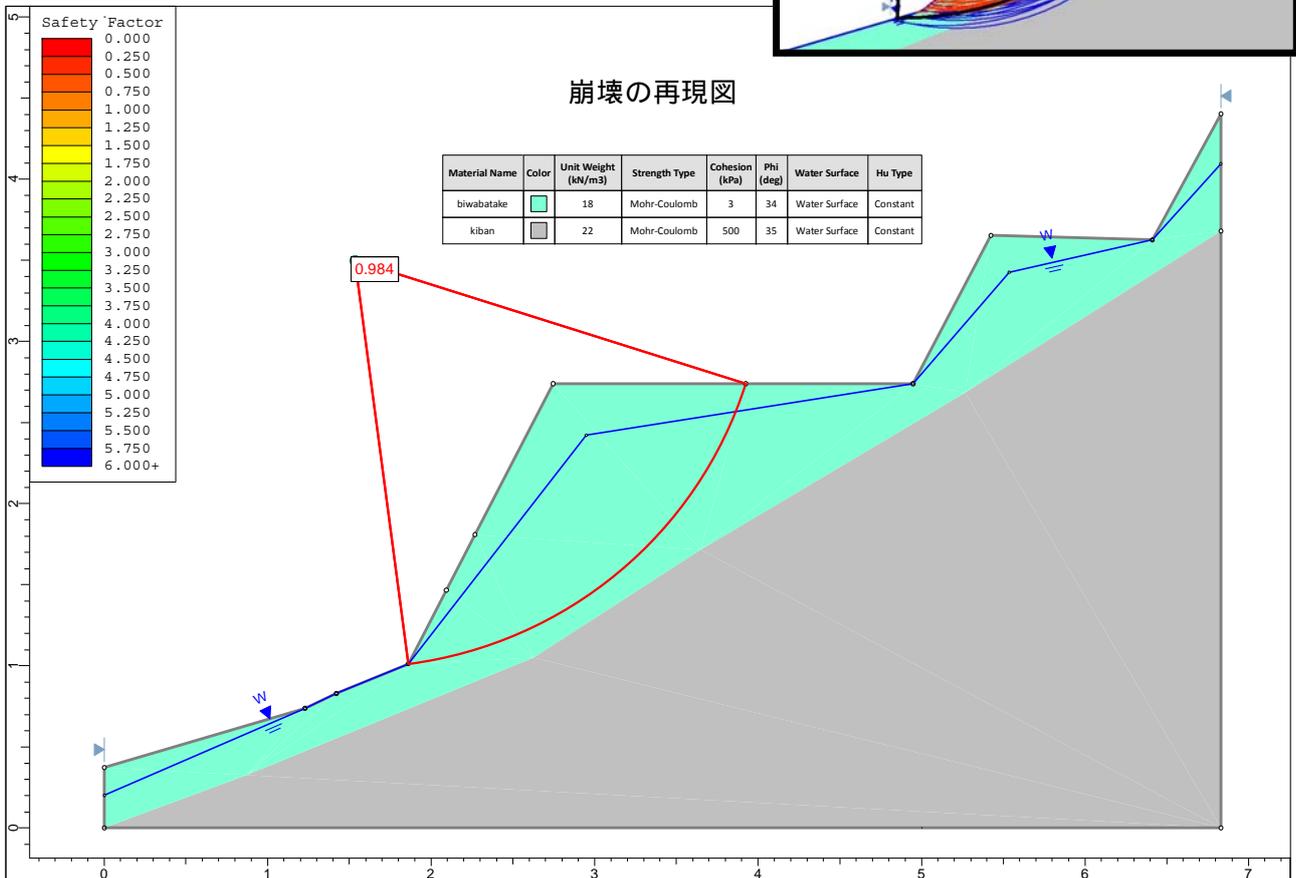
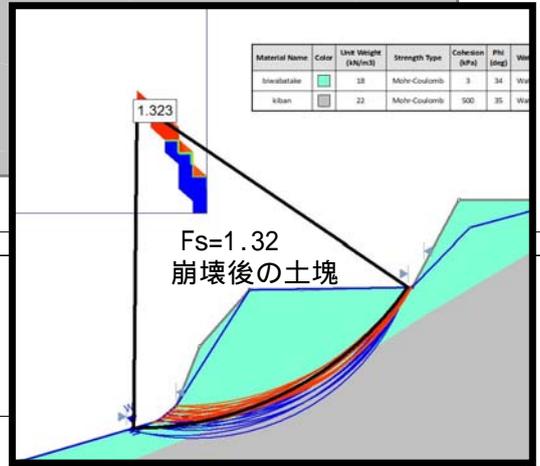
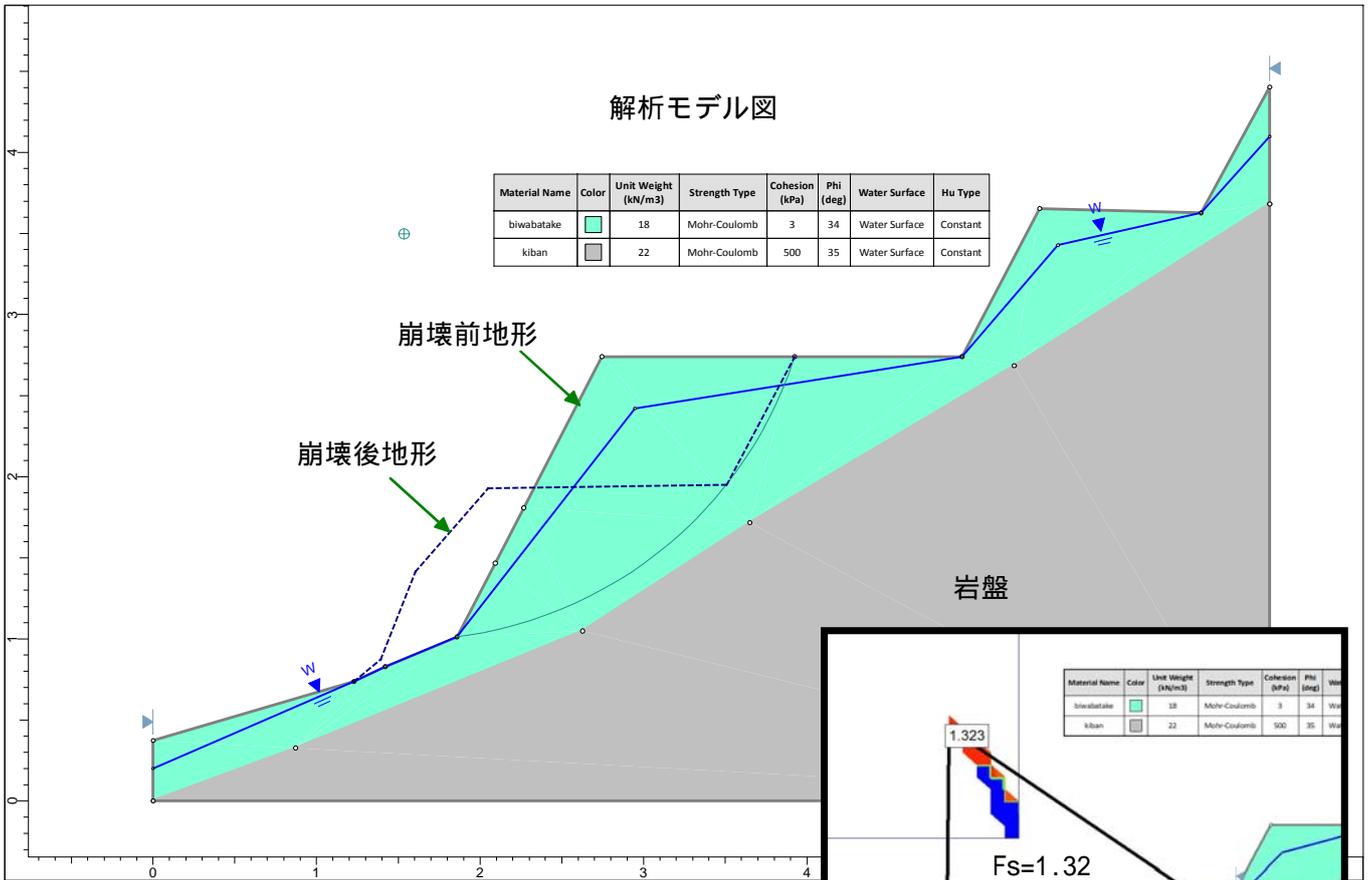
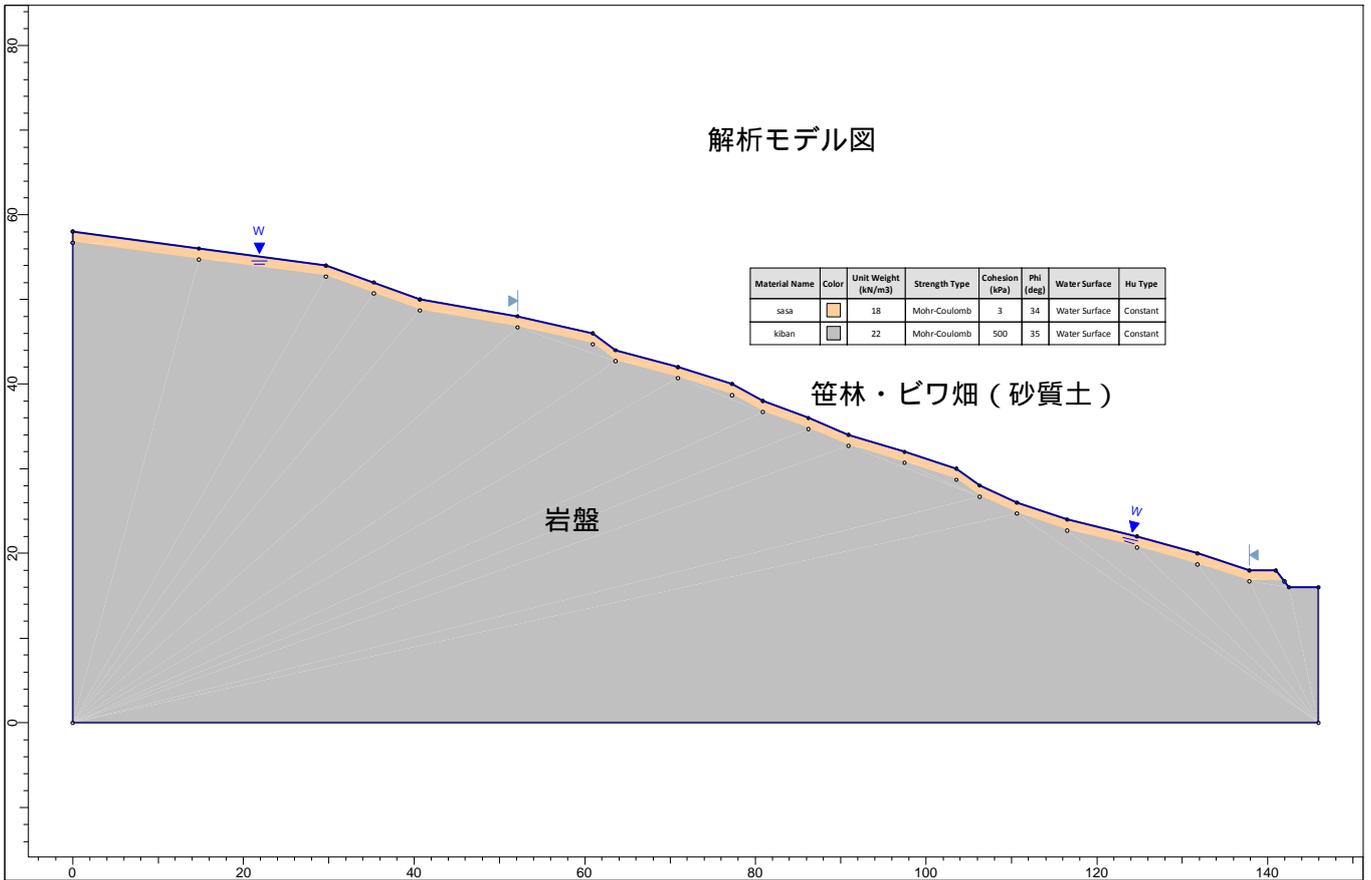


図2.8.2 D断面全体の表層滑りの安定解析



安定解析結果

